

## 川端明日香さんへの

## インタビュー

- 職業：主婦
- 家族構成：夫・子ども2人
- 移住歴：6年
- お気に入りのスポット

棚田・御城番屋敷・松坂城跡  
鈴の森公園



「結婚を機に松阪へ引越してきてきたんですよ。移住前は方言に慣れるか心配でしたし、ペーパードライバーだったので普段の生活で支障が出ないか不安でした。」と語るのは、移住歴6年目の川端明日香さんだ。

「もともと、東京の出身なんですが、ペーパードライバーで免許証は身分証明書代わりでした。取得してすぐの時は乗りましたが、こちらに来て何年ぶりに運転しました。」と。久しぶりに運転してみると直ぐに乗りこなせたようで、生活に支障ない様子。松阪は東京に比べて運転しやしいことも功を奏したようだ。ただ、農業用水路が多く夜は暗いので落ちないように注意しているとのことではあるが。

あと、「方言が心配でしたが来てみると大丈夫でした。最初は言葉が聞き取れない事もあったが今は慣れました。」と移住前の不安は直ぐに解消されたらしい。「車が必要ですけど、とてもゆつたりとした生活で、山や海が近く、田舎ではスロースライフを楽しむことができるし、市街地では必要なものが全てまとまっているので快適に過ごせる環境です。大都会すぎず、田舎すぎもしない、ほどよい魅力的な町ですよ。こちらに来て私の性格ものんびりしたものになりました。」と今の

## 『公園をもっと活性化させたい』



生活に満足そうだ。

「市の中心部から少し車を走らせば、自然が豊かな田舎に感じる。遮るものがない夜空は星が綺麗で、「深野棚田まつり」は、竹とろうが幻想的です。一度は見て欲しい絶景ですね。あと、食べ物には松阪牛のイメージがあるが、鶏焼きの方が身近です。焼き鳥形式ではなく、網焼きで食べるスタイルは新鮮だった」と言う。

そんな、川端さんが町へ希望したいことがあるようで「児童館などの遊べる室内施設も欲しい。みえこどもの城は、よく利用しているけど駐車場までの距離があるので、雨の日は利用を躊躇してしまう。本当は雨の日こそ行きたいのに」と本音もこぼす。

「ご近所付き合いも溝掃除など最初はびっくり、組長さんという言葉にも驚きました。都会では、みんなで集まることは全然なかったもので、顔を見て覚えてもらったり、子どもがいる事も分かっただけで、安心してなあと感じましたよ。それを、煩わしいと思うか

どうかは、その人次第ですが、少なくとも私は助かっています。花岡地区の神社の祭りも参加しています。」と地域活動を楽しんでいる。

「最近では義父と田植えや草刈りを一緒にしていて、すっごく楽しいです。まだ4〜5回しかしてませんが」と笑う。

元々自然で遊ぶのが好きなので、子育てママが気軽に子どもと外遊びできるように「公園をもっと活性化させたい」と今後の展望に期待している様子。



深野棚田まつり※



※『深野棚田まつり』・・・飯南町深野地区の棚田で10月下旬に行われるまつり。約4千個の灯籠は圧巻です。